

# 2023 年度 事業報告書

2024 年 5 月 24 日  
学校法人 明倫学園

明倫短期大学

## I. 法人の概要

### 1. 設立趣意

科学技術の進歩や高齢化社会の到来に対応して、医療・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、医療・福祉サービスの内容や仕組みが充実されていくなかで、我が国では、高齢化の進展・疾病構造の変化、健康志向の高まりなどを念頭において、新しい展開がなされようとしています。

このような情勢のなかで、歯科医療分野でも、歯科医学の進歩、歯科医療技術の高度化、歯科材料の新開発などに伴い、歯科医療が専門細分化するとともに、歯科救急医療、障害者歯科医療などを含め、国民の歯科保健・医療・福祉に対するニーズも高度化し、しかも、多様化しています。

これらの新しい時代の要請に応えるため、歯科技工士及び歯科衛生士の養成についても、単に歯科医療を支える伝承的技術や診療補助技術などの習得にとどまらず、幅広い知識と高度な技術、社会人としての良識や情操豊かな人間性を備え、また、実行力と独創性をもって斯学の研究に当り、一般の歯科技工士及び歯科衛生士に対しても指導的役割を果し得る質の高い人材の養成が急がれています。

本学園は、歯友会歯科技術専門学校において集積してきた教育経験とノウハウを発展的に用い、「人格の陶冶」、「知識と技術の修得」、「社会への医療技能の還元」を創立綱領として、「明倫短期大学」を設立し、国際貢献も視野におきつつ、社会的な要請に応え得る歯科技工士及び歯科衛生士を養成し、もって歯科医学・医療の発展、福祉社会の充実、ひいては国民生活の向上に寄与することを目的としています。

### 2. 名称・所在地等

名称	学校法人 明倫学園
所在地	新潟県新潟市西区真砂3丁目16番10号
設立	平成8年12月19日
理事長	渡邊 高志

### 3. 沿革

昭和34年7月7日	歯友歯科技工士養成所・歯友歯科衛生士養成所において歯科医療技術者の養成を始める
平成7年1月	明倫短期大学設立準備委員会設置
平成8年12月19日	学校法人明倫学園設立認可 明倫短期大学設立認可 歯科技工士学科（修業年限2年・入学定員80名・収容定員160名） 歯科衛生士学科（修業年限2年・入学定員120名・収容定員240名） 歯科技工士養成指定学校認可・歯科衛生士養成指定学校認可
平成9年4月1日	明倫短期大学開学
平成10年12月22日	明倫短期大学専攻科設置申請受理・言語聴覚士養成指定学校認可
平成11年4月1日	明倫短期大学専攻科開設 歯科技工士学科専攻科生体技工専攻 （修業年限2年・入学定員20名・収容定員40名） 歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻 （修業年限2年・入学定員10名・収容定員20名） 歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻保健言語聴覚学専攻

	(修業年限2年・入学定員10名・収容定員20名)
平成18年4月1日	明倫短期大学歯科衛生士学科修業年限・収容定員変更 歯科衛生士学科(修業年限3年・入学定員100名・収容定員300名) 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻募集停止
平成20年3月19日	財団法人短期大学基準協会より適格認定の評価結果を受ける。
平成20年3月31日	明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科医療衛生専攻廃止
平成21年4月1日	明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻開設 (修業年限1年・入学定員10名。収容定員10名) 同専攻科が大学評価・学位授与機構より認定専攻科の認定を受ける。 (学士(口腔保健学))
平成22年4月1日	財団法人歯友会の事業を承継し、文部科学大臣より収益事業開始の認可を得て、老人福祉・介護事業(歯友会居宅介護支援センター)開始
平成23年4月1日	明倫短期大学歯科技工士学科収容定員変更 歯科技工士学科(入学定員70名・収容定員140名)
平成25年4月1日	明倫短期大学歯科技工士学科・歯科衛生士学科収容定員変更 歯科技工士学科(入学定員50名・収容定員100名) 歯科衛生士学科(入学定員80名・収容定員240名) 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科保健言語聴覚学専攻募集停止
平成26年3月31日	耐震工事第1期完了(3号館)
平成27年3月12日	財団法人短期大学基準協会より適格認定の評価結果を受ける。
平成27年3月31日	耐震工事第2期完了(1・5号館) 明倫短期大学歯科衛生士学科専攻科保健言語聴覚学専攻廃科
平成27年4月1日	明倫短期大学歯科技工士専攻科生体技工専攻入学定員変更 (入学定員10名・収容定員20名)
平成29年4月1日	明倫短期大学歯科技工士学科専攻科生体技工専攻が大学改革支援・学位授与機構より認定専攻科の認定を受ける。(学士(口腔保健学))
2020年4月1日	明倫短期大学歯科技工士学科・歯科衛生士学科収容定員変更 歯科技工士学科(入学定員30名・収容定員60名) 歯科衛生士学科(入学定員60名・収容定員180名)
2021年4月1日	国際技術交流会館において学外学生の受入開始(収益事業)
2022年3月11日	一般財団法人大学・短期大学基準協会の適格認定の評価結果を受ける。
2023年2月17日	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による大学改革支援歯科技工士学科専攻科生体技工専攻及び歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻の教育の実施状況等の審査が2023年2月に実施され「適」と認められる。

#### 4. 設置学校・学科の状況

---

学校名	明倫短期大学
学長	宮崎 秀夫
所在地	新潟県新潟市西区真砂3丁目16番10号
学科等	歯科技工士学科 歯科衛生士学科
専攻科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻 歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻

2023 年度入学・在籍状況

2023 年 5 月 1 日現在

		就業年限 (年)	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学生数 (人)	現員数 (人)
学 科	歯科技工士学科	2	30	60	19	34
	歯科衛生士学科	3	60	180	64	165
	小 計	-	90	240	83	199
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	2	10	20	4	8
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	1	10	10	4	4
	小 計	-	20	30	8	12

[参考] 2024 年度入学・在籍状況

2024 年 5 月 1 日現在

		就業年限 (年)	入学定員 (人)	収容定員 (人)	入学生数 (人)	現員数 (人)
学 科	歯科技工士学科	2	30	60	13	32
	歯科衛生士学科	3	60	180	43	158
	小 計	-	90	240	56	190
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	2	10	20	3	7
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	1	10	10	0	0
	小 計	-	20	30	3	7

2023 年度卒業・就職状況

2024 年 5 月 1 日現在

		卒業・修了者数 (人)	求職者数 (人)	求人数 (人)	内定者数 (人)	内定率 (%)
学 科	歯科技工士学科	14	10	251	10	100
	歯科衛生士学科	47	43	942	43	100
	小 計	61	53	1193	53	100
専 攻 科	歯科技工士学科専攻科生体技工専攻	4	4	141	4	100
	歯科衛生士学科専攻科口腔保健衛生学専攻	4	4	378	4	100
	小 計	8	8	519	8	100

5. 校舎・保有地 (2023 年 5 月 1 日現在)

校舎等	校舎	7,496.7 m <sup>2</sup>
	学生寮	4,388.9 m <sup>2</sup>
	計	11,885.6 m <sup>2</sup>
保有地	校地	11,337.5 m <sup>2</sup>
	保有地 (保安林)	35,813.0 m <sup>2</sup>
	計	47,150.5 m <sup>2</sup>

6. 役員・評議員 (2023 年 5 月 1 日現在)

理事	定数 5 名	現員 5 名	監事	定数 2 名	現員 2 名
評議員	定数 11 名	現員 11 名			

## 7. 教職員数（2023年5月1日現在）

### 教員数（専任教員）

	教授	准教授	講師	助教	助手	計
歯科技工士学科	2	1	3	0	0	6
歯科衛生士学科	4	0	2	3	0	9
計	6	1	5	3	0	15

### 職員数

	常勤	非常勤	計
教育系職員	-	3	3
医療系職員	8	8	16
一般事務系職員	10	2	12
計	18	13	31

### 職員数（収益部門）

	常勤	非常勤	計
歯友会居宅介護支援センター	2	3※	5

※非常勤職員のうち2名は教職員と兼任（教員1名、職員1名）

## II. 事業の概要

### 1. 経営改善計画進捗状況

私立学校法で定める中期的な計画として2020年8月に策定した5ヵ年の経営改善計画について、単年度ごとに事業計画として具体的な計画内容を策定し、経営改善計画達成に向け取り組んでいます。

経営改善計画4年目となる2023年度事業計画では、「多様な学びの在り方を実現する新たな教育プログラム及び学修支援を提供する」、「財務の健全化を確実に進めるとともに、社会ニーズに即し、かつ、働きがいのある学園経営・大学運営を目指す」という2つの項目を重点事項（基本方針）とし、それぞれ経営改善計画に即した実行計画を設定し、学生の確保と財務基盤強化に鋭意努めました。歯科衛生士学科においては、長期履修学生制度を応用した働きながら学べる「社会人プログラム」を導入し、現職の歯科助手等、新たな志願者層を開拓し、2023年度入学定員充足率も100パーセントを超えることができました。また、歯科技工士学科においては、昨年に引き続き厚生労働省補助事業「歯科技工士の人材確保対策事業」に採択され、チェアサイドでの働き方やデジタル人材の育成等、歯科技工士のリスクリングを提供し好評を得ています。財務基盤強化においては、省エネ対策を進め、各種補助事業や寄付金の増収することができました。

以下は、2023年度の各事業計画の進捗状況の概要です。

#### (1) 教育・研究

##### ① 歯科衛生士学科社会人プログラム開講に伴う教育制度の柔軟化及び教育環境整備

社会人プログラム利用学生の勤務先の歯科医院を実習施設として取り扱うための内規や、登院判定時期や合格判定基準の設定等、制度整備を行い、オンデマンド講義のための録画マニュアルを策定し、教育環境の効率的な運用に取り組みました。年度末において、利用者に対し、プログラムの内容や運用についてのアンケート調査を実施し、2024年度の実施に向け、制度の見直しや運用の改善に取り組んでいます。

尚、2023年度社会人プログラム利用者数は7名でした。

##### ② 歯科技工士学科の教育組織の再構築

学科において学科及び専攻科生体技工専攻の教育課程・担当者の見直しを行なった他、歯科技工士学科版社会人プログラムの時間割案を作成し、検討をすすめ

ました。次年度より、働きながら修学を希望する人学生に対しては、長期履修学生制度を応用し、個々人に対応した教育プログラムを提供します。

### ③ 特別修学支援制度の充実及び社会人学生の修学支援体制の構築

2023年度修学時特別支援申込者数は6名、支援計画書を作成し、合理的配慮の提供等支援を行いました。また、学生委員会において、休学・復学者に対するフォローアップ方法の見直しを行い、個々人に対応する担当教職員を配置し、スムーズな復学に向けた支援体制を構築しました。

社会人学生のオンデマンド受講状況について、学生個々人に対し、週1回の出席状況確認（フィードバック）を行なっています。これにより、学生の受講状況の自己管理を支援し、無理のない計画的な修学を指導することが可能になりました。

### ④ 歯科技工士人材確保対策事業及び歯科衛生士学び直し講座の充実

昨年度に引き続き厚生労働省補助事業「令和5年度歯科技工士の人材確保対策事業」に採択され、実地研修及びE-learningを実施しました。

2月に歯科衛生士学び直し講座を開催し、有資格者13名が参加しています。

## (2) 大学運営・管理

---

### ① 学生募集対策

#### (ア) 「見つけてもらう」ための広報活動強化

##### ・ イラストデザインの活用・ネット等メディア広告の強化

7月にTVCM、6～9月にかけてネット広告を実施した他、社会人をターゲットとした新聞広告やDMを送付しました。Webにおいては、ホームページをLP化し、Instagramの更新頻度を上げた他、TikTokのアカウントを開設しました。

##### ・ 多様なステークホルダーに向けた広報活動の展開

新潟県歯科医師会、新潟県歯科技工士会、明倫短期大学校友会や関連法人の協力のもと、大学パンフレットの送付や社会人プログラムのリーフレットを広範に送付しました。

#### (イ) 「関心をもってもらう」ための広報活動強化

##### ・ 高校訪問強化とインターンシップの受け入れ

高校訪問時における職業紹介やインターンシップ受け入れ周知を強化し、新潟県内の3校よりキャンパス見学の申し入れがありました。インターンシップの受け入れは、夏に高校生1名、中学生1名を受け入れ、その後、進路指導部より受け入れ依頼があった1校から2名を受け入れただけとなりました。次年度計画として予定したい旨の回答も複数校からいただいています。

##### ・ 教育の多様性をピーアールした広報活動の展開

オープンキャンパスの他、YouTubeコンテンツを拡充し、本学の特長を重点的に感じてもらえる資料を公開しました。また、専攻科のリーフレットを作成し、歯科衛生士養成専門学校に送付しました。

##### ・ 歯科技工士の職業認知向上に特化した広報活動

オープンキャンパスにおいて、県内外で活躍しているOB・OGによる職業・学業紹介を行い、参加者より好評を得ています。

#### (ウ) 「選んでもらう」ための広報活動強化

##### ・ 魅力あるオープンキャンパスの開催

本年度は、午前中に歯科衛生士学科のオープンキャンパスを、午後には歯科技工士学科のオープンキャンパスを開催し、歯科技工士・歯科衛生士の職業もいずれも理解できる体型にしました。連続して参加した受験対象年度の方は4名おり、3名が受験しました。

・ **奨学金制度の周知・多様な学生の受け入れ**

高校訪問時において、特待生制度の他、新たに設置した附属歯科診療所奨学金制度の周知を強化した広報活動を行いました。また社会人プログラムの特設コーナーを設置し、在学生の動画コンテンツを公開しています。

② **財務基盤強化**

---

(ア) **附属歯科診療所の抜本的運営改革**

土曜日の訪問診療の実施等により、年間売り上げ目標額を達成することができました。

(イ) **経費節減計画**

毎月のエネルギー使用実績を教職員に周知し、省エネの取り組みを呼びかけ、年間においては前年度対比で使用量は1割減、使用料金は2割節減することができました。

(ウ) **施設等設備計画**

財務状況の好転を受け、次年度予定していた附属歯科診療所設備（レントゲン、ユニット）講義収録システムを前倒しで購入しました。

③ **ガバナンス体制の整備**

---

(ア) **経営改善改革体制の強化**

運営管理者会議において、経営改善計画の進捗状況についての進捗状況報告・改善に取り組みました。

(イ) **リスクシナリオの策定・経営改善計画の見直し**

リスクシナリオの前提となる法人を継続させるための最低限必要な学生数について、令和4年度の補正後経常収支差額による損益分析点分析を行い、理事会において確認しています。

④ **情報公開**

---

教職員を対象とした理事会説明会を7月に開催し、財務状況や事業計画、経営改善計画の進捗状況を理解したうえで危機意識を共有しました。

公開が求められている事項については、各部署に確認をし、規程に基づく期日にあわせ、ホームページ上に公開しています。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 財務比率経年比較（貸借対照表関係）

（単位：%）

比率	評価	算式（×100）	2021年度	2022年度	2023年度
1 固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	91.9	87.1	86.8
2 有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	90.9	86.5	86.0
3 特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	0.6	0.3	0.5
4 流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	8.1	12.9	13.2
5 固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	10.3	9.3	8.9
6 流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	5.8	7.3	7.0
7 内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$	▲ 9.2	▲ 4.5	▲ 3.5
8 運用資産余裕比率	△	$\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	▲ 0.2	0.3	0.3
9 純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	83.8	83.4	84.0
10 繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	▲ 58.1	▲ 61.8	▲ 64.3
11 固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	109.6	104.4	103.3
12 固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	97.6	94.0	93.4
13 流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	138.9	175.9	187.3
14 総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.2	16.6	16.0
15 負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	19.3	19.9	19.0
16 前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	209.0	235.6	248.8
17 退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定預金}}{\text{退職給与引当金}}$	0.0	0.0	0.0
18 基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	95.2	96.0	96.8
19 減価償却比率	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$	57.0	59.5	61.2
20 積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	11.4	17.9	17.7

（注）1. 評価：△ 高い値がよい ▼ 低い値がよい ～ どちらともいえない

2. 運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券 外部負債＝総負債－（退職給与引当金＋前受金）

3. 要積立額＝減価償却累計額＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

4. 運用資産余裕比率の単位は（年）である。



## 2. 事業活動収支計算書関係

(単位 %) )

比率	評価	算式 (×100)	2021年度	2022年度	2023年度	
1 人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	58.0	48.1	50.5	
2 人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	141.1	114.6	115.4	
3 教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	40.3	41.3	39.1	
4 管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	18.4	20.0	17.6	
5 借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.8	0.6	0.4	
6 事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	▲ 19.8	▲ 43.6	▲ 9.5	
7 基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	127.0	143.6	109.5	
8 学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	41.1	42.0	43.8	
9	寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.8	2.5	1.4
	経常寄付金比率	△	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.8	2.5	1.4
10	補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	14.5	14.3	13.9
	経常補助金比率	△	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	14.5	14.5	13.9
11	基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	5.7	0.0	0.0
12	減価償却額比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	19.8	21.5	21.0
13	経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	▲ 17.5	▲ 10.0	▲ 7.6
14	教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	▲ 16.7	▲ 9.4	▲ 7.2

(注) 1. 経常収入 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計  
2. 経常支出 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

## 3. 活動区分資金収支計算書関係

1	教育活動資金収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	6.7	27.2	16.4
---	--------------	---	--	-----	------	------

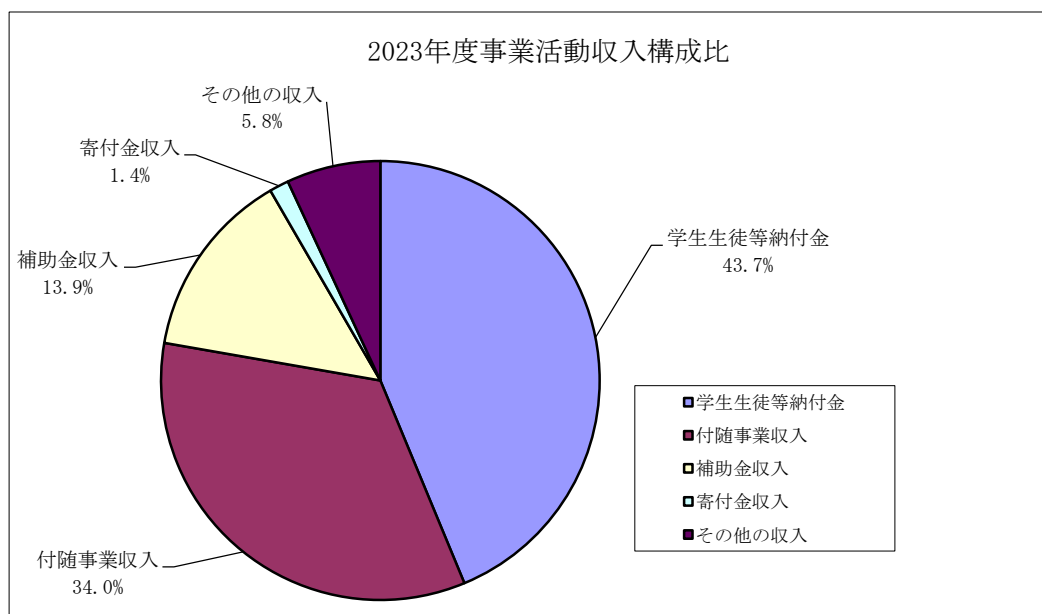
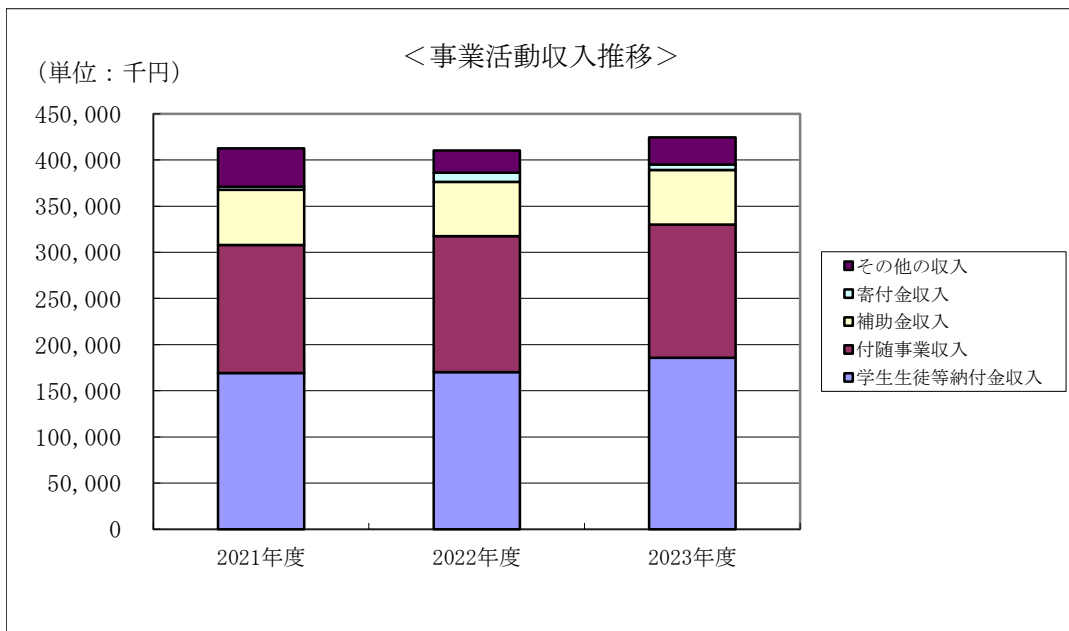
教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

#### 4. 事業活動収入構成比と年次推移

< 事業活動収入推移 >

(単位：千円)

	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	169,400	170,280	185,707
付随事業収入	138,599	147,116	144,374
補助金収入	59,761	58,759	59,009
寄付金収入	3,150	10,102	6,070
その他の収入	41,865	24,075	29,412
合計	412,775	410,332	424,572



## 5. 事業活動支出構成比と年次推移

<事業活動支出推移>

(単位：千円)

	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	239,061	195,191	214,248
教育研究経費支出	166,012	167,406	165,790
管理経費支出	75,880	81,057	74,473
借入金等利息支出	3,495	2,636	1,790
その他の支出	10,139	143,146	8,605
合計	494,587	589,436	464,906

